



本製品を正しくご使用いただけますよう本書を最後までよくお読みください。

概要

バタフライダンパに高頻度 ON-OFF 用電動操作機を搭載。

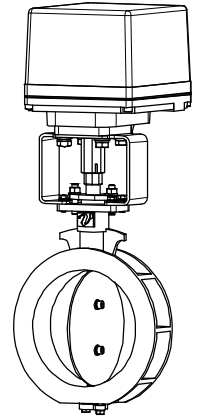
操作機

PHR : AC / DC 電源用

ダンパ

WT シリーズ 高精度に加工された本体と弁体により低リークを実現。









ダンパ材質は耐熱性を配慮し、-40 °C ~ +550 (600) °C と幅広い温度範囲で使用できます。



製品コード

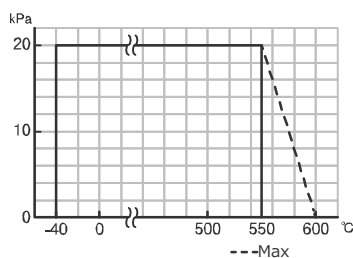
WT シリーズ	(シールリングなし)	PHR	WT	□	□	2	T	G	0	-	□	□	□
	(シールリング付き)	PHR	WT	□	□	2	T	G	S	-	□	□	□
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		(9)	(10)	(11)
(1) 操作機型式 PHR	(4) ランク 0 : 標準 1 : 軽荷重 2 : 重荷重	(7) パッキン材質 G : 膨張黒鉛	(10) オプション L0 : 補助リミットスイッチ L2 : 補助リミットスイッチ	(2) 弁型式 WT	(5) 接続規格 2 : JIS 5K	(8) シールリング材質 0 : なし S : SUS316	(11) 動作モード なし : モード A Q : モード B V : モード C	(3) 電源電圧 1 : AC100 / 110 V 2 : AC200 / 220 V 0 : DC24 V 3 : AC24 V	(6) 本体材質 T : SCS13A	(9) 呼び径 [A] ex. 80 A → 080			

ダンパ仕様

 冷温水
  油
  気体
  蒸気
  化学薬品
  海水
  スラリー
  負圧条件

弁型式	WT (シールリングなし)		WT (シールリング付き)
本体形状	ウエハー形		ウエハー形
接続規格	JIS 5K フランジ形		JIS 5K フランジ形
適用流体			
最大圧力	20 kPa		20 kPa
呼び径 [A]	40 ~ 250	300 ~ 400	40 ~ 400
弁材質	本体	SCS13A	
	弁体	SUS420J2	SUS420J1
	シールリング	なし	
ステムシール	パッキン	膨張黒鉛	膨張黒鉛

使用圧力と温度範囲

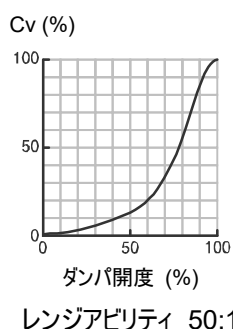


温度範囲 : -40 ~ 600 °C

弁座許容漏れ量

	呼び径 [A]	備考
WT-2TG0 (シールリングなし)	40 ~ 50	定格 Cv 値の 2 % 以下
	65 ~ 400	定格 Cv 値の 1 % 以下
WT-2TGS (シールリング付き)	40	定格 Cv 値の 1 % 以下
	50	定格 Cv 値の 0.5 % 以下
	65	定格 Cv 値の 0.2 % 以下
	80 ~ 400	定格 Cv 値の 0.1 % 以下

固有流量特性



電動操作機仕様

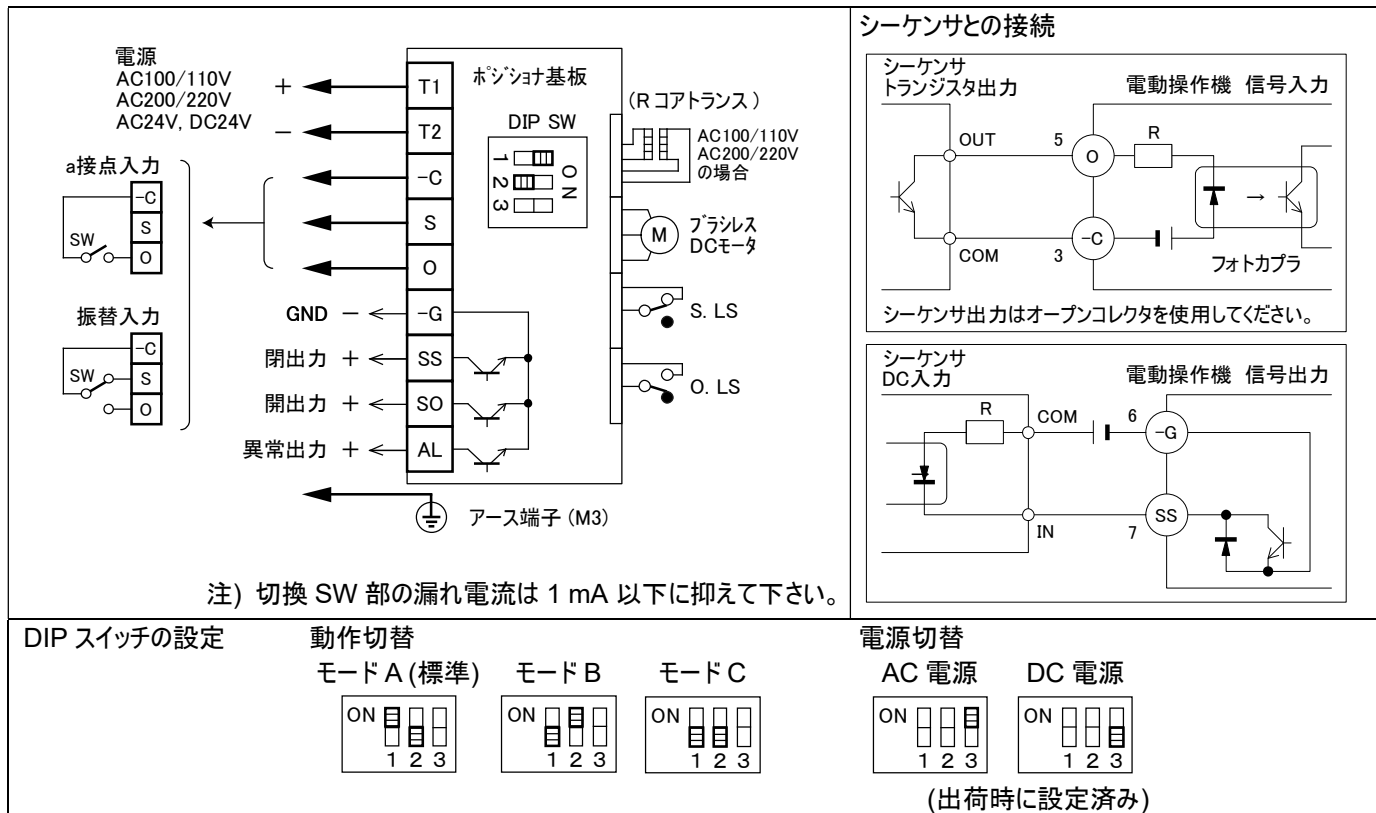
PHR シリーズ

型式 (□: 電源コード)	PHR-300-□	PHR-700-□	PHR-02K-□	PHR-06K-□
電源	AC100 / 110 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 1) AC200 / 220 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 2) AC24 V ±10 % 50/60 Hz (電源コード: 3) DC24 V (電源コード: 0)			
定格トルク [N・m]	21	50	140	400
開閉時間 [s]	1.5 ~ 2.5	AC 電源: 4 ~ 7 DC 電源: 5 ~ 7	AC 電源: 13 ~ 18 DC 電源: 16 ~ 18	AC 電源: 38 ~ 50 DC 電源: 45 ~ 58
消費電力 (最大) [VA]	120			
モータ	ブラシレス DC モータ (PWM 制御)			
モータ保護	カーレントリミッタ式			
制御方式	a 接点信号入力式 [モード A] [モード B] 振替入力式 トランジスタ出力信号形 [モード C]			
動作 *1	モード A	SW が OFF で 閉 ↔ SW が ON で 開 (標準)		
	モード B	SW が ON で 閉 ↔ SW が OFF で 開 (オプション: Q)		
	モード C	C-S が ON で閉 ↔ C-O が ON で開、両方 OFF / 両方 ON でダンパ開度保持 (オプション: V)		
入力信号電流	O 端子入力電流 DC15 V 6 mA (トランジスタ使用可) (許容漏れ電流 1 mA 以下)			
出力信号接点容量 (最大)	DC50 V 30 mA トランジスタ オープンコレクタ出力			
異常信号	過負荷でモータの保護回路が作動した時に出力 (接点 ON) します。 逆動作信号または電源再投入で復帰します。			
負荷時間率	連続			
使用周囲温度	-20 ~ 55 °C			
スペースヒータ電力	AC100 / 110 V, 200 / 220 V: 4 W AC24 V: 2 W DC24 V: 1.5 W			
手動操作	手動クラッチ式 (300 ~ 02K: 出力軸直接操作、06K は手動操作軸)			
保護形式	IP65 相当 (JIS C 0920) 防噴流形			
モータケース	アルミダイカストケース (アクリル樹脂系焼付塗装)			
電線接続	ねじ端子台 M3 (アース用ねじ M3)			
電線引込形式	2-G1/2 付属品: ケーブルグラウンド (Φ6 ~ 12 mm キャブタイヤケーブル用)、プラグ			

*1 基板上的の DIP スイッチで変更可能 (標準 → モード B、モード C)

電動操作機仕様

結線図

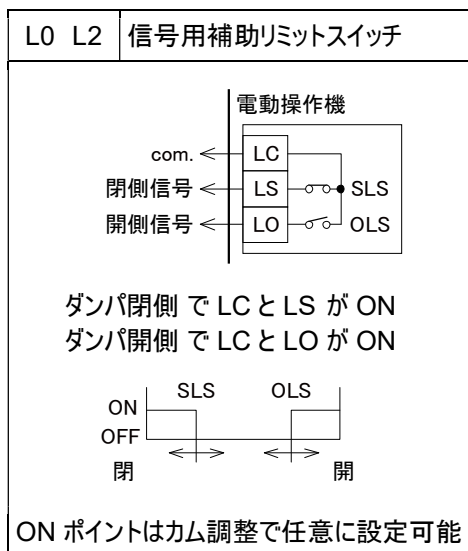


オプション

分類	コード	概要
SW が OFF で閉 ↔ SW が ON で開	なし	モード A (標準)
SW が ON で閉 ↔ SW が OFF で開	Q	モード B
C-S が ON で閉 ↔ C-O が ON で開、 両方 OFF または両方 ON でダンパ開度保持	V	モード C
補助リミットスイッチ	L0	標準信号用
	L2	微小負荷信号用
手動レバー	M0	(06K は不可)

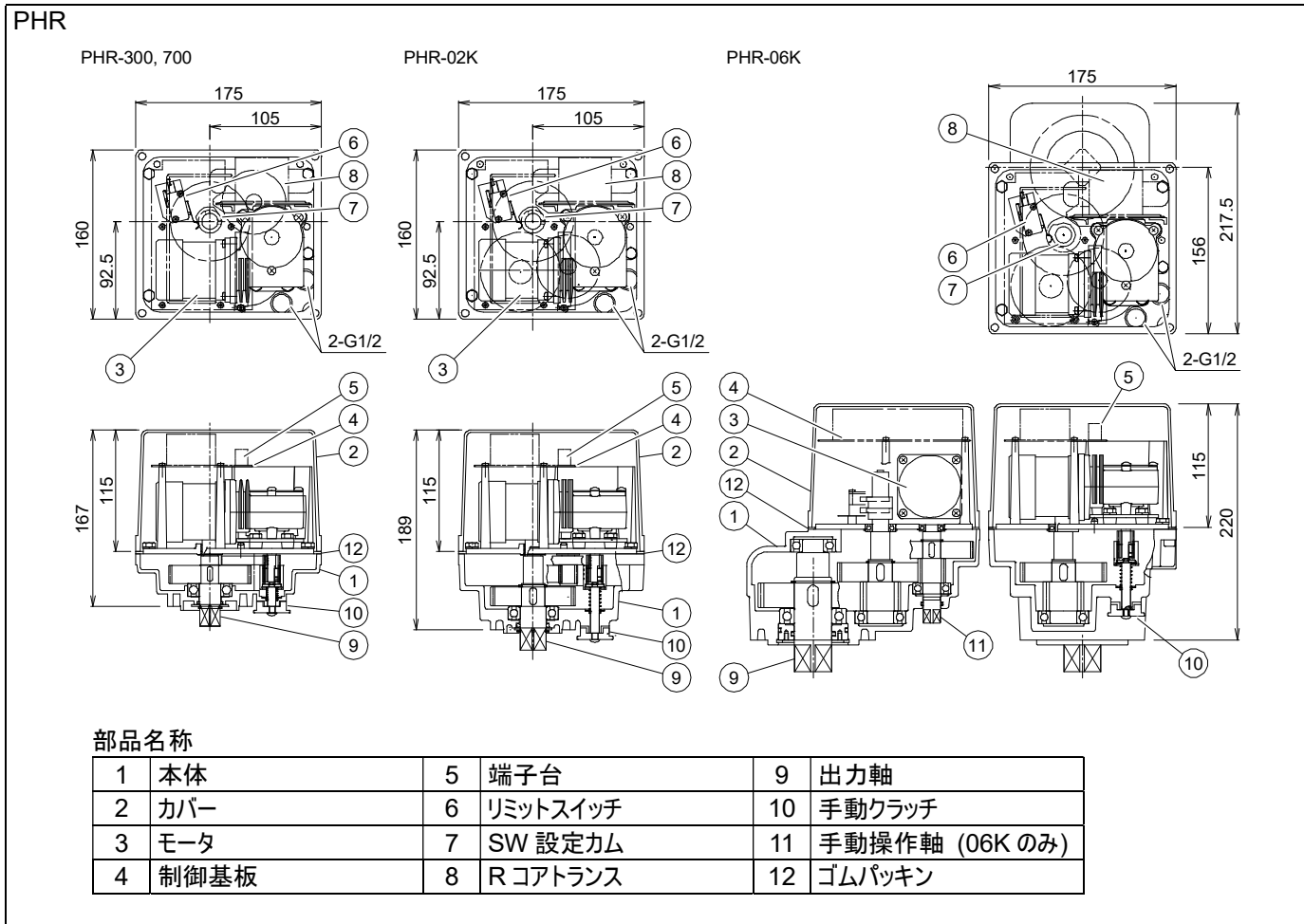
信号用補助リミットスイッチ (L0 / L2) の詳細は、オプション仕様書にてご確認ください。

オプション結線図



電動操作機仕様

構造図・外形寸法図



電動弁取扱注意事項

ご使用にあたって

- ①運送上の注意
 - ・丁寧に取扱い、落としたり、投げ下ろしたりしないでください。
- ②保管上の注意
 - ・長期又は一時保管の場合は梱包のまま整理して保管してください。直射日光が当たる場所、ほこりの多い場所、水滴がかかる場所は避け、製品に無理な力が加わらないようにしてください。
 - ・配管ポートの防塵キャップは配管するまで外さないでください。
- ③製品の確認
 - ・据え付け前に、必ず製品型式が正しいか、確認してください。
 - ・ボルト類に緩みが発生していないか点検してください。
 - ・モード切替 DIP スwitchの設定は必ず電源投入前に行ってください。

電動弁の取付け

- ①配管の注意
 - ・ダンパを接続する前に、配管内に異物（溶接スパッタ、さび、スケール、砂等）が残存しないように清掃してください。
 - ・流れ方向に指定のあるダンパ（WT）は、製品に表示してある矢印を確認して配管してください。
 - ・ダンパは全閉した状態で出荷されますので、そのまま取付けることができます。
 - ・フランジの溶接、取付け方法により、弁体がパイプ内側に接触する危険のある場合は、パイプ接続内周の面取りを行うことが必要です。
- ②フランジ接続上の注意
 - ・配管用ガスケットは流体性状、圧力、温度に適したものを選定してください。
 - ・大きな温度変化が頻繁に起こる場合は配管パッキンの面圧低下を防止する為にスプリングワッシャの使用をお勧めします。
 - ・ウェハー形パタフライダンパは二枚のフランジにはさみ込み、ロングボルトで締め付けます。
 - ・フランジとダンパの芯出しを正確に行い、弁体がパイプ内側に接触しないよう注意して取付け作業を行ってください。
 - ・ボルトの締め付けは、対角線上を交互に均等な力で締めてください。
- ③取付け環境
 - ・高温（55℃以上）、腐食性ガス等の雰囲気、又は振動の多い場所（0.5 G 以上）は避けてください。
 - ・輻射熱により、操作機の表面温度が 55℃以上になる場合は、適切な遮蔽板を設けてください。
 - ・流体または製品の作動部が凍結するおそれがある場合は、凍結防止策を施してください。
- ④取付け姿勢
 - ・取付け姿勢は正立から横向きまでとし、逆立は避けてください。製品の周辺には、手動操作、点検、交換作業が行えるスペースを設けて下さい。

操作機上部に必要なメンテナンススペース

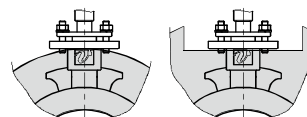
PHR	120 mm 以上
-----	-----------

⑤その他の注意

ケーブルグラウンドに配線されるまでは、操作機内部の結露、水の浸入がないようにしてください。これはケーブルグラウンドの保護キャップは防塵の為に、防水ではない為です。

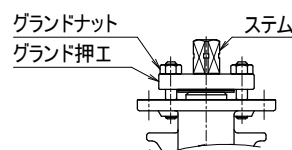
⑥保温施工上の注意

- ・グラウンドパッキンのメンテナンスのため保温はグラウンド部の下までにして下さい。
- ・グラウンド部の上部は放熱部ですので、保温しないでください。



グラウンドナットの増し締め

- ・グラウンドパッキン部より漏れがないか確認してください。
 - ・漏れが発見された場合は、グラウンドナットを交互に均一に増し締めしてください。
- 下記の表のトルクを参考に、締め過ぎに注意してください。



呼び径 [A]	グラウンド締付トルク [N・m]
40 50 65	1
80 100 125	2
150 200 250 300	5
350 400	8

電動弁取扱注意事項

結線

①配線上の注意

- 配線作業は、操作機カバーを取り外して行ってください。
- 操作機下部の配線引込み口 (G1/2×2 口) にキャブタイヤケーブル用ケーブルグランド×1 と、プラグ×1 が取り付けられています。適応キャブタイヤケーブル外径は Φ6 ~ 12 mm となります。
- 電源線と信号線を分ける場合や、他サイズのケーブルを使用する場合は、別途ケーブルグランドをご用意ください。
- フレキチューブを使用する場合はチューブ内部から呼吸作用により、操作機内部で結露が発生し動作不良となることがあります。シール剤でフレキチューブコネクタ部をシールしてください。
- シール剤を操作機内部で使用する場合、リミットスイッチ等の接点に悪影響のない電気機器用の物を使用してください。
- 電圧降下に注意し、操作機の端子電圧が定格の 90 % 以下にならないようにしてください。

②結線上の注意

- 屋外で使用する場合、雨天での結線は避けてください。
- 電源電圧を確認し、結線図通り正しく結線してください。
- 使用しない端子には結線しないでください。
- 基板上のモード切換ディップスイッチが正しく設定されているか確認してください。
- アース等の感電防止対策をとってください。操作機内ではアース表示 (≡) のねじをご利用ください。

結露防止

- 結線後、操作機上部カバーを取付ける時は、ボルトは仮締、本締の手順で行い、ゴムパッキンが均一に締まっていることを確認してください。
- 電線引込口から浸水しないよう、ケーブルグランドのナットが締め込まれている事を確認してください。

制御

①開閉入力信号

- 操作スイッチにトライアック、CR 付リレー等を使用した場合、漏れ電流が 1 mA 以上ありますと誤動作の原因となることがあります。信号用リレーの使用をお勧めします。
- ドライ接点信号用に微弱電圧を使用する場合は、ノイズの多い場所や長距離の配線は他の動力ラインと分け、シールド線を使用してください。

②DC 電源

- バッテリ、又は全波整流の DC24 V 電源が使用可能です。
- モータ起動時は消費電流の 1.5 ~ 3 倍の突入電流が流れます。電源機器の選定にはこの突入電流を考慮してください。
- 配線距離が長くなる場合は、動作時、操作機部で電圧が 90 % 以下にならないように、電線を選定してください。
- 電源の立ち上がり、立ち下がり時間が 1 秒以上かかる物は、使用できません。

③開閉信号の使用

開閉信号を取り出し使用する場合は、信号接点容量の範囲内で使用してください。

④動作モード

特に指定のない場合、下記のように設定されています。ご使用前に設定が正しいか、必ず確認してください。

動作モード	A
動作	SW が OFF で閉 ↔ SW が ON で開

運転

①試運転の手順

- 電源を入れる前に一度、結線及び電源電圧が正しいか確認してください。
- 電動操作機を作動させ、動作や開閉信号が正常か確認してください。

②運転上の注意

- モード切替 DIP スwitchの設定は必ず電源投入前に行ってください。必要のないスイッチは絶対に変更しないでください。
- 結露防止スペースヒータを内蔵していますので、常時通電してください。
- 機械動作部 (コネクタ部) がありますので、運転時は動作部に手を近づけないようにしてください。
- 動作中に逆転信号が入るような使い方は、製品の寿命を縮めますので極力避けてください。
- 操作機上に物を置いたり、足場にしたりすることは、絶対に避けてください。

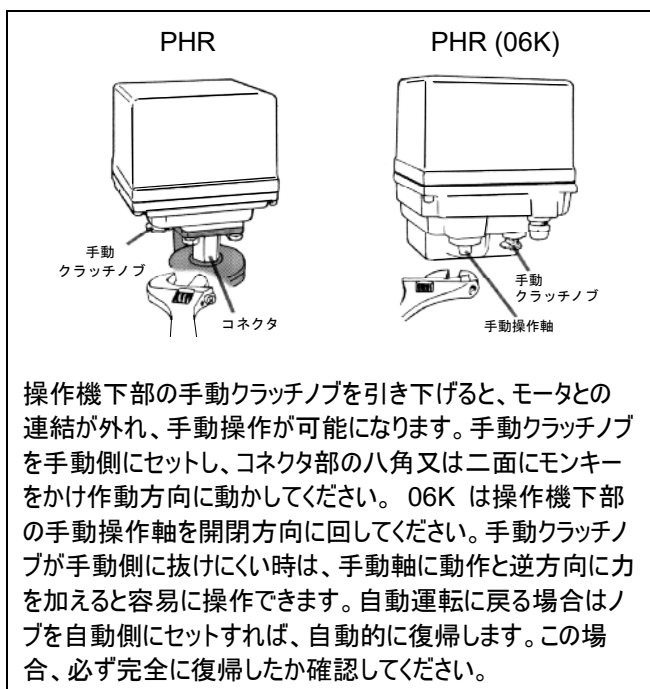
電動弁取扱注意事項

手動操作

①手動操作時の注意事項

- 安全のため必ず電源を切り、下記の要領で行ってください。
- 手動操作は開度表示を見ながら行い、全開、全閉位置を確認して、それ以上回し過ぎないようにしてください。

②手動操作方法



いずれも自動運転に移る前に必ず工具は外してください。

保守・点検

- 感電を防止するため、操作機のカバーを開ける際は必ず電源を切って下さい。
- 使用状況、環境に応じ、定期的に点検を行ってください。
- 通常半年に一度下記に従って行ってください。
- 長期間運転しない場合は3ヶ月に1度程度運転を行い、動作を確認してください。

点検内容

- 開閉の動作に異常はないか
- 操作機内部が異常に熱くないか
- 作動時の異音、振動の有無
- ねじ類の緩みの有無
- 操作機内部に水の浸入、結露の発生はないか
- 流体温度、使用圧力の確認
- ステム周りからの漏洩の有無
- ボルトの締め付けトルクの確認

電動弁取扱注意事項

故障と処置

製品が正常に作動しない場合は、下記項目で調査、点検をしてください。原因が不明、部品交換、修理が必要な場合は、その状況をご連絡ください。

故障状況	原因	処置
作動しない	結線が間違っている	正しく結線する
	電圧が来ていない	電圧を確認
	電源電圧が正しくない	過大な電圧がかかった場合は操作機を交換する
	配線のショート、接触不良	配線、接続を見直す
	モータの寿命	モータ交換 (工場修理)
動作不安定	サージ電圧、異常電圧が加わった	<ul style="list-style-type: none"> 制御基板、リミットスイッチを交換 (工場修理) 操作機交換
	操作機内に雨水の浸入	<ul style="list-style-type: none"> 内部を乾燥 操作機交換
	インバータからの高周波ノイズが加わる	インバータメーカーオプションの各ノイズフィルタを取付ける。配線をシールドしてアースする
	誘導ノイズが加わる	三相モータ等の動力配線と遠ざける。配線をシールドしてアースする
	漏れ電流のあるSWを使用	漏れ電流が 1 mA 以下になるようにする。

故障状況	原因	処置
中間位置で止まる	付着物がある	付着物を除去
	ダンパの変形	ダンパを交換する
	トルク増大で保護回路が働いた	逆動作信号 又は電源再投入で復帰
異常信号出力		
手動操作後自動で動かなくなった	手動クラッチが手動側になっている	自動側にセットする
	動作範囲外にある (06K)	手動操作で範囲内にする
ステム部 (グランド構造) から漏れる	グランドパッキンが摩耗した	グランドナットを増し締めする
		グランドパッキンを交換する

ダンパ、操作機、部品を交換する場合、不明な点は、弊社までお問い合わせ、又は交換要領書をご請求ください。